

# とちぎ夢大地応援団活動報告（平成28年10月16日実施）

## 那須烏山市大木須地区「休耕田・古民家周辺の草刈り」

オオムラサキの保全活動・放蝶会、ホタルの観察会、そば祭り等活発な活動を行っている那須烏山市大木須地区の夢大地応援団活動が10月16日、応援団員27名、地元里山大木須を愛する会（堀江一慰会長）の会員10名の合計37名が参加して実施されました。応援団員の内訳は、ボランティア団体・ナルク栃木の会員11名、県農政部職員8名等です。

開会式では、堀江会長が「応援団の皆さんの力添えをいただいて、大木須をきれいにする活動を続けていきたい」と歓迎のあいさつを述べました。このあと県農村振興課の職員がEV車とポータブル蓄電池を活用し電動草刈り機を操作するデモンストレーションを行いました。

草刈り作業は、地区内の5カ所の休耕田等で行われました。参加者は、背丈以上に伸びたセイタカアワダチソウやつづる性の雑草などと汗びしょりになりながら格闘、2時間半で約1haの面積をきれいに刈り払いました。20代の男性参加者は「荒れた農地がきれいになり、景観が良くなったのを見て、満足感が得られた」と感想を語っていました。

昼食は、地区の女性たち手づくりのカレーライスや野菜たっぷりの汁物など振る舞われました。また、その後の交流会では、11月20日に同地区で開かれるそば祭りの話題などで盛り上がりました。



堀江会長（左端）の歓迎あいさつ



電動草刈り機のデモンストレーション



背丈以上に伸びたセイタカアワダチソウと格闘する応援団員



後方の建物が古民家。前日も宿泊客の利用がありました



地元の女性たち手づくりの昼食に参加者みんな「おいしい！」を連発



昼食の後は応援団員と地元の人たち（手前）の交流会。そば祭りのお話などで盛り上がりました